

筑前御殿神楽【ちくぜんごてんかぐら】



開催場所

北九州市八幡東区諏訪 2-2-17 ほか
枝光八幡宮の他、戸脇神社、鷹見神社、
狩尾神社、豊山八幡神社、中原八幡宮、
埴生神社、熊野神社、十五社神社、
八所神社、高見神社、日峰神社、
一宮神社、仲宿八幡宮、若松恵比須神社、
十二所神社

開催日

10月8日～12月12日
毎年、10/8日の戸脇神社を皮切りに、
12/12の十二所神社まで、
旧遠賀郡の神社16社で順次行われる。

【芸能の概要】

旧遠賀郡の社家に伝わる筑前御殿神楽は、神前以外で舞うことが無く、神職のみによって、舞と楽が奉奏される。舞には採物を持って舞う「舞神楽」と面をかぶって舞う「面神楽」の2種類および「湯立て神楽」がある。神職のみでの神楽は全国的にも例が少ない。

【芸能の特徴】

筑前御殿神楽は、室町時代、1476（文明8）年の記録が文書に残っており、宮中の「御神楽」、猿楽能、又、両部習合神道、唯一吉田神道等の影響のもと確立継承された（参照「筑前神楽考」）。中世には麻生家の保護を受けていた筑前御殿神楽は、江戸時代になると黒田家の庇護のもと福岡城三之宮で、明治時代には大嘗祭のうちに京都御所で奉奏された。

明治4年の社家諸家執奏廃止により、多くの里神楽は社家から氏子へと継承の変遷を辿ったが、旧遠賀郡の社家では神職のみによる神楽舞の伝統が現在でも守り受け継がれている。

【使用する祭具・道具など】

舞神楽は榊、弓、太刀、折敷（盆）などの採り物を持って舞う。

・アクセス

枝光八幡宮へは、JR スペースワールド駅から徒歩 20 分

・周辺の観光

長崎街道木屋瀬宿記念館、瀬坂の森公園、曲里の松並木、吉祥寺の藤

吉祥時藤まつり(4月)

筑前木屋瀬祇園宿場祭(7月)

筑前黒崎宿場まつり(10月)

筑前木屋瀬子供えびす祭(12月)

・近くの特産品

大葉春菊、フグ、一粒カキ、小倉牛

